

事業名	緑安全安心まちづくり推進事業		担当	区局部課名	緑区総務部地域振興課	電話	930 - 2232	
				課長名	竹内 康夫			
施策名	■中期計画						重点事業	-
	■運営方針	安全で安心なまちづくり					番号	-
目的	「安全は区民・地域自らがつくる」という考えのもと、防犯に関する区民の関心を高め、地域での自主的な活動促進のための情報提供・活動支援を行います。							
内容	①緑区安全安心まちづくり推進協議会事業 ②防犯リーダー養成事業 ③地域の防犯環境整備							
根拠法令等	緑区安全安心まちづくり推進協議会会則							

コスト	区分	H16決算	H17決算	H18予算	H18決算見込	H19予算
	事業費	(千円)	2,939	7,490	8,600	8,600
うち一般財源等	(千円)	2,939	7,490	8,600	8,600	1,900
人件費(概算)	(千円)	5,445	5,441	5,400	5,441	5,400
総コスト(概算)	(千円)	8,384	12,931	14,000	14,041	7,300

活動・成果指標	名称	単位	H16実績	H17実績	H18予定	H18実績見込	H19予定
		自治会の防犯活動実施率	%	46	72	81	81
成果	単位当たりコスト【総コスト/指標】	(千円)	(182)	(180)	(173)	(173)	(86)
	防犯リーダー養成講座参加者数	人	-	33	71	71	80
成果	単位当たりコスト【総コスト/指標】	(千円)	-	(392)	(197)	(198)	(91)
	緑区内刑法犯発生件数	件	3,639	2,694	2,474	2,474	2,300
成果	単位当たりコスト【総コスト/指標】	(千円)	(2)	(5)	(6)	(6)	(3)

評価項目	点数	理由・説明等
1 適応性	7	① 市民ニーズや社会経済情勢の現状に適っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		② 事業を市が行う必要性があるか。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
市民意識調査では、「防犯対策」(37.2%)が4年連続トップとなっており、市民ニーズが非常に高い事業である。また、事業の目的にもなっている「安全は区民・地域自らが守る」という考えのもと、地域での自主的な活動促進のための情報提供や活動支援を行う必要がある。		
2 有効性	7	③ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		④ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
地域で行う防犯活動において核となって活動する防犯リーダーの養成や防犯グッズの提供、防犯活動者の意見交換会など、「安全は区民・地域自らが守る」活動の支援を行い、区政運営方針の目標である地域防犯力の強化を図った。		
3 目標達成度	8	⑤ 目標の水準は適切か。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑥ 計画通りに目標を達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
自治会の防犯活動実施率を前年度比+12.5%の81%と設定し、目標の水準は適切と考える。また、地域の防犯力が向上し、空き巣などの犯罪件数が大幅に減少するとともに、防犯パトロール実施自治会数が8割を超え、目標を達成することができた。		
4 経済性効率性	8	⑦ コストは縮減しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑧ 事務は効率的に行われているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
パトロール活動に必要な防犯グッズは、一部を活動団体の自己負担とするなど、コスト縮減に努めている。また、事務の流れをフロー図化して自治会に周知し、事務の効率化を図った。		
5 正確性信頼性	8	⑨ 安全・正確を確保する手段が講じられているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑩ 説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
安全安心まちづくり推進協議会を開催して事業報告・事業計画を検討するとともに、自治会や広報区版などを通じて定期的に防犯情報を発信している。		

総合評価	合計	38	特記事項 (協働の取組状況) 地域と協働した防犯パトロールや活動に必要な物品の提供など、「安全は区民・地域自らが守る」という事業目的を達成するため、協働で取組を行った。 (環境への負荷) 該当なし
	100点換算	95	
	ランク(A~E)	A	自治会における防犯パトロールの実施率も8割を超え、平成13年当初から比べると犯罪発生件数も大幅に減少してきた。しかし、依然としてひったくりや自転車盗など、経常的に発生している現状があり、更なる対策が必要である。